

令和5年度事業報告

1. 事業

この法人は、進路指導の普及発展に寄与することを目的として、令和5年度は定款第4条に掲げる下記の事業を行った。

(1) 進路指導に関する調査研究

① 研究委託校の委嘱による調査研究

全国都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会等の推薦を受けて研究委託校を指定し、教育現場における進路指導諸問題の調査研究を推進した。

◆ 令和4・5年度研究委託校

- 東京都品川区立京陽小学校(「進路指導」96巻-3号)
- 東京都品川区立戸越台中学校(97巻-2号)

(2) 進路指導に関する研修会・講演会、研究協議会等の開催

① 第71回 進路指導・キャリア教育研究協議全国大会の開催

[別紙 資料1-1・2] 「進路指導」96巻-3号・96巻-4号に掲載

- 参加人数 241名

② キャリア研修講座(全6回実施) [別紙 資料2]

- 参加人数 63名

(3) 令和5年度 協会賞・会長感謝状表彰の授賞者の選定について

- 令和5年6月22日(木)協会事務室にて協会賞選考委員会を開催した

- 受賞団体は、機関誌「進路指導」(96巻-3号)に掲載。

公益財団法人日本進路指導協会賞贈呈団体

株式会社 ケイオーパートナーズ

- 令和5年6月22日(木)協会事務室にて会長感謝状贈呈者選考委員会を開催し、選考した。

- 受賞者は、機関誌「進路指導」(96巻-3号)に掲載。

公益財団法人 日本進路指導協会会長感謝状贈呈者

今井 清仁 前千葉県東金市立東金中学校 校長

上田 精也 奈良県立法隆寺国際高等学校 校長

今野 晋 東京都江戸川区立春江中学校 主任教諭

寺田 盛紀 名古屋大学 名誉教授・研究員

京都先端科学大学 客員研究員

橋本 準一 大東文化大学第一高等学校 校長

増田 義和 前実業之日本社 会長

宮原 清 福岡県立西田川高等学校 校長

(4) 進路指導に関する関係諸団体との連絡提携

① 進路指導研究協議全国大会における連携

前記の全国大会の開催については、その計画・立案の段階から、全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会（以下全中進という）、全国高等学校進路指導協議会（以下全高進という）、ならびに日本キャリア教育学会（以下学会という）との密接な連携のもとに進めており、第45回全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議大会、第47回全国高等学校進路指導研究協議大会を兼ねる形で実施。今年度から、全国小学校キャリア教育研究協議会が共催団体となり、第6回全国小学校キャリア教育研究協議大会も兼ねることとなった。

また、この事業は文部科学省の後援の他、次の諸団体の後援をいただいた。

東京都教育委員会 全国都道府県教育長協議会 全国連合小学校長会
全日本中学校長会 全国高等学校長協会 日本私立中学高等学校連合会

② キャリア教育研修講座の実施についての連携

文部科学省の後援をいただいて実施、講師の派遣についても協力を得た。

全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会、全国高等学校進路指導協議会、日本キャリア教育学会から講師等の推薦をしていただいた。

③ 機関誌「進路指導」の編集についての連携

機関誌「進路指導」は何よりも現場教師の指導に役立つものでなければならない。

そのため小・中・高の進路学習の実践モデルを連載するなど、新企画の編集について全中進・全高進の積極的な協力を得て推進した。

④ 日常活動における関係団体との連携

研究活動はもとより、必要な情報の交換・共有等のため独立行政法人労働政策研究・研修機構、(公財)産業雇用安定センター、全国商業高等学校長協会、(公社)全国工業高等学校長協会、全国農業高等学校長協会、(公財)産業教育振興中央会等多くの関係団体との連携を図った。

(5) 進路指導に関する資料の収集及び展示

① 研究委託校の調査研究資料の収集・展示

研究委託校における研究成果は、2か年の委託期間が満了した折、報告書として提出される。その資料の一部を機関誌「進路指導」で紹介し、他は整理・保管し、関係者の求めに応じて閲覧に供してきた。

② 研究協議会等における資料の収集・展示

全国大会あるいは地区進路指導研究大会等に出席の折、進路指導諸資料の収集や協会出版物の展示・頒布に努めてきた。

- 第60回全九州中学校進路指導・キャリア教育研究大会宮崎大会参加
[宮崎市立広瀬中学校・令和5年11月10日(金)]
- 第63回北海道キャリア教育・進路指導研究大会参加
[中標津町立計根別学園・令和5年12月8日(金)]
- 第7回全国小学校キャリア教育研究協議会東京大会
[荒川区立峡田小学校・令和6年2月16日(金)・17日(土)]

(6) 進路指導に関する図書、資料、雑誌の出版及び推薦

① 機関誌「進路指導」の出版・推薦

協会発足の昭和2年に機関誌「職業指導」として発刊を始め、昭和39年から「進路指導」と名を変えて出版・刊行してきた。平成20年度から月刊を季刊に改めた。本年も継続し全国小・中・高・大等現場の教育者への購読を推奨してきた。

- 第96巻 第2号(夏号・令和5年6月1日)
- 第96巻 第3号(秋号・令和5年10月1日)
- 第96巻 第4号(冬号・令和5年12月1日)
- 第97巻 第1号(春号・令和6年3月1日)

発行部数はいずれも1,000部

② 副読本「中学生活と進路」の推薦

「中学生活と進路」の採択・普及に努めた。

③ その他の書籍の出版・推薦・普及

文部科学省(旧文部省)の刊行物では「中学校・高等学校進路指導の手引(各編)」及び「中学校(高校学校)進路指導資料(第2・3分冊)」について、広く全国の進路指導関係者に頒布・推薦してきた。

すでに刊行している小学校キャリア教育実践講座(三村隆男著)、キャリア教育Q&Aワーク(中学校編・鹿嶋研之助監修)、キャリア教育のエッセンス(吉田辰雄監修)の普及に努めた。

(7) 進路指導に関する研究委託校の決定と指導・援助および助成

① 研究委託校の選定

公益財団法人 日本進路指導協会研究委託校規程に基づき、都道府県・政令指定都市の教育委員会に推薦を依頼して委託校を決定した。令和4・5年度研究委託校は、下表のとおりである。

- 東京都品川区立京陽小学校
「品川コミュニティ・スクールで取組むしながわドリームジョブ」
- 東京都品川区立戸越台中学校
「地域と進める体験学習」

② 研究委託校への指導援助と助成

研究委託校の要請に基づいて、研修会、発表会・研究会等に指導のための講師を派遣し、その経費を負担している。

令和4・5年度研究委託校に対し、研究実践成果報告書の提出を待って、その作成謝金として1校当たり30,000円を交付した。

(8) 児童・生徒の進学・就職に関する進路選択等の指導・援助

年間を通して進路選択に関する本人あるいは保護者の相談は多い。電話による相談が大半であるが、時には来所相談もある。本人の在籍校で相談を深めることを基本として、それぞれの悩みに対応した指導援助にあたってきた。

- 江戸川区立春江中学校で各学年に進路講和を行った。

(9) 進路指導に関する政府の諮問に応ずること。政府その他機関に対する意見の提出

文部科学省の施策に全面的に協力する立場から、常に教育現場に生ずる進路指導上の問題を把握し、必要に応じて参考意見を述べ、調査研究に協力してきた。

(10) その他目的を達成するために必要な事業

小学校キャリア教育研究協議会、全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会、全国高等学校進路指導協議会、日本キャリア教育学会、その他諸関係団体と協力し、進路指導・キャリア教育の普及発展に努めた。

第 7 1 回 進路指導・キャリア教育研究協議大会全国大会 開催要項

第 4 5 回 全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議大会

第 4 7 回 全国高等学校進路指導研究協議大会

第 6 回 全国小学校キャリア教育研究協議大会

1. 主 催 公益財団法人日本進路指導協会
 共 催 全国小学校キャリア教育研究協議会 全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会
 全国高等学校進路指導協議会 日本キャリア教育学会
 後 援(申請中) 文部科学省 東京都教育委員会 全国都道府県教育長協議会
 全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国高等学校校長協会
 日本私立中学高等学校連合会

2. 主 題 「新学習指導要領のもと、進路指導・キャリア教育の一層の充実を目指して」

3. 目 的

昨年度、すべての校種で新学習指導要領が完全実施されました。小学校・中学校・高等学校と一貫したキャリア教育に踏み出しました。キャリア・パスポートが校種を結ぶ大きな役割を果たすこととなります。

今後の教育改革のねらいは、大きな変化が予想される未来社会を担うこととなる児童生徒の、新たな時代に求められる資質・能力を育むことです。予測不可能な未来社会を生き抜くためには、児童生徒一人一人が自らの可能性を最大限に発揮し、よりよい社会と幸福な人生を創り出していかなければなりません。そのためのキャリア教育であり、期待はますます高まっています。成熟社会に対応した教育の未来について考える機会にしたいと考えます。

当協会が主催する今大会は、文部科学省等の協力を受け、全国の進路指導・キャリア教育の一層の普及発展を図ることを目的とするものです。

4. 会 期 令和 5 年 7 月 2 8 日(金)、2 9 日(土)の 2 日間

5. 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1 電話：03-3469-2525

小田急線：参宮橋駅下車 徒歩約 7 分

地下鉄千代田線：代々木公園駅下車(代々木公園方面 4 番出口) 徒歩約 10 分

京王バス：新宿駅西口(16 番)より 運行系統「宿 51 渋谷駅行」

・ 代々木 5 丁目停留所 下車 徒歩約 1 分

渋谷駅西口(40 番)より 運行系統「宿 51 新宿駅西口行」

・ 代々木 5 丁目停留所 下車 徒歩約 1 分

6. 日程・時程

◆ 第1日 7月28日(金)

9:00 9:40 10:10 11:30 13:00 16:00

受付	開会式	記念講演	昼食・休憩	分科会・研究協議
----	-----	------	-------	----------

◎ 記念講演 「睡眠が拓く、子供の未来」(仮題)

東京家政大学 准教授 岡島 義 先生

◆ 第2日 7月29日(土)

9:30 11:50 13:00 16:00

分科会・研究協議	昼食・休憩	全体研究協議会
----------	-------	---------

7. 参加費 無 料 (参加者には、必ず資料を購入していただくこととなりますので、ご了承ください。
なお、資料代は3,000円となります。当日、受付で納入してください。)

8. 申込方法 ① 所在地・所属 ② 職名・氏名 ③ 希望分科会を明記し、はがき及びFAX、E-mail
あるいは、日本進路指導協会ホームページ「お問い合わせ・資料請求」で、7月8日(金)ま
でに申込みください。

9. 申込先 (公財)日本進路指導協会 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-8-1 親和ビル
TEL 03-5280-7013 FAX 03-5280-7018 E-mail nihon-shinro@z-shinro.jp

10. 分科会・研究協議

◆ 第1日 7月28日(金) 13:00~16:00 分科会・研究協議

分科会	協議分野
第1(中学校)	「進路学習・キャリア教育の計画と実践」
第2(高等学校)	「進路学習・キャリア教育の計画と実践」
第3(中学校)	「中学校における進学・就職への指導・援助の在り方」
第4(高等学校)	「大学・短期大学・専修学校など進学への指導・援助の在り方」
第5(中学校)	「中学校におけるキャリア教育の在り方」
第6(高等学校)	「高等学校における就職などへの指導・援助の在り方」
第7(小学校)	「キャリア教育の計画と実践」

◆ 第2日 7月29日(土) 9:30~11:50 分科会・研究協議

13:00~16:00 全体研究協議会

		協議分野
午前	小学校・中学校	小学校・中学校における進路指導・キャリア教育の諸問題とその解決
	高等学校	高等学校における進路指導・キャリア教育の諸問題とその解決
午後	全体研究協議会	学校におけるキャリア教育の推進

※ 新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、変更が生じることがあります。ホームページでのご確認
をお願いします。 公益財団法人日本進路指導協会 <https://www.shinro-shido.com/>

第1日目

第1分科会：進路学習・キャリア教育の計画と実践(中学校)

提案 発表 表	「自律的に活動することのできる生徒の育成」 ～主体的な態度で、先を見据え(夢)協働的に学び(絆) 自らを切り拓いていく(志)活動を通して～ 大分県玖珠町立塚脇小学校 校長 平原 一幸 (前 玖珠町立くす星翔中学校 校長) 大分県玖珠町立小田小学校 教頭 穴井 清佳 (前 玖珠町立くす星翔中学校 指導教諭)
	「世田谷区キャリア・未来デザイン教育の推進」 ～キャリア・プランニング能力の向上を図る～ 東京都世田谷区立深沢中学校 主幹教諭 深沢 享史
司会	東京都大田区立大森第七中学校 校長 佐藤 圭一
指導助言	東京音楽大学 客員教授 関本 恵一
運営	東京都大田区立大森第七中学校 主幹教諭 福岡 哲史
記録	東京都江戸川区立小岩第二中学校 教諭 平良 亮太

第2分科会：進路学習・キャリア教育の計画と実践(高等学校)

提案 発表 表	課題研究で主体性を伸ばす～普通科都立高校の取組～ 前東京都立調布南高等学校 主幹教諭 森川 美智恵 コース制への転換と総合的な学び-「総合的な学習(探究)」の定着を目指して- 大阪商業大学高等学校 副校長 中井 敏晴
司会	東京都立東高等学校 校長 山寺 佳幸
指導助言	東京女子体育大学 教授 野口 敏朗
運営	埼玉県立浦和商業高等学校 教諭 長谷川 恵美
記録	東京都立小台橋高等学校 主幹教諭 多田 早穂子

第3分科会：中学校における就職・進学への指導・援助の在り方(中学校)

提案 発表 表	「生き方教育 - 9年間のふるさとキャリア教育を通して-」 鳥取県鳥取市立湖南学園 教諭 山本 健太 自己の生き方について考え、 主体的に自己の進路選択・決定できるようにするための教育活動 北海道陸別町立陸別中学校 教諭 渡邊 耕平 北海道陸別町立陸別中学校 教諭 西垣 翔
司会	東京都新宿区立牛込第二中学校 校長 松澤 亮
指導助言	早稲田大学大学院 教育学研究科 客員教授 岩永 章
運営	千葉県千葉市立こてはし台中学校 教諭 佐々木 敬朗
記録	東京都東大和市立第四中学校 教諭 大田和 拓也

第4分科会：大学・短期大学・専修学校などへの指導・援助の在り方(高等学校)

提案 発表 表	本校の進路指導について～組織的な進路指導の10年間～ 神奈川県立横浜翠嵐高等学校 田邊 大樹 本校の進路指導の実践～ナリタイジブンになるために～ 福岡県立直方高等学校 教諭 水上 浩司
司会	東京都立野津田高等学校 校長 高柳 勝彦
指導助言	全国普通科高等学校長会 事務局長 佐藤 到
運営	千葉県立大網高等学校 教諭 松尾 拓哉
記録	東京都立晴海総合高等学校 主任教諭 桜井 伸一

第5分科会：中学校におけるキャリア教育の在り方

提案 発表 表	「京都府のキャリア教育の取組」 京都府京丹波町立和知中学校 校長 平井 浩一 「社会的・職業的自立を促す、知的障害特別支援学級におけるキャリア教育」 ～幸せな人生を送るための力～ 東京都荒川区立尾久八幡中学校 主任教諭 伊藤 要輔
司会	東京都大田区立中萩中小学校 校長 石川 貴美子
指導助言	東京都教育庁指導部義務教育指導課 指導主事 安田 芳
運営	東京都大田区立大森第三中学校 副校長 五十嵐 弘毅
記録	東京都板橋区立高島第三中学校 教諭 鈴木 亮太

第6分科会：高等学校における就職などへの指導・援助の在り方

提案 発表	本校における就職等への指導・支援について 徳島県立徳島科学技術高等学校 教諭 温水 浩 未来へ！生徒と共に歩む就職支援 福井県立坂井高等学校 教諭 出口 浩史
司会	東京都立松原高等学校 校長 石野 隆
指導助言	東京都教育庁指導部高等学校教育指導課 指導主事 高木 智史
運営	埼玉県立三郷工業技術高等学校 教諭 江本 圭之介
記録	千葉県立千葉商業高等学校 教諭 竹田 大起

第7分科会：キャリア教育の計画と実践(小学校)

提案 発表	「児童会活動におけるキャリア教育の実践」 東京都荒川区立峡田小学校 主幹教諭 上間 一蔵 「全市ですすめる京都型キャリア教育の実践」 京都府京都市立池田小学校 主幹教諭 田野 早苗
司会	京都市立岩倉北小学校 校長 三浦 清孝
指導助言	東京都教育庁指導部義務教育指導課 指導主事 宮西 真
運営	中野区立江古田小学校 副校長 山本佳子
記録	世田谷区立代沢小学校 主幹教諭 横田 恒

分科会・研究協議 第2日目

小学校・中学校分科会：

小学校・中学校におけ

る進路指導・キャリア教育の諸問題とその解決

提案 発表	「特性と伝統を生かし、地域に根差したキャリア教育の充実」 ～「地域と共に生きる将来の担い手の育成を目指して」の取組から」 秋田県大仙市立西仙北中学校 教諭 武藤 しのぶ 「キャリア・パスポートの取組の充実を目指して」 京都府京都市立岩倉北小学校 教諭 大嶋 慧
司会	東京都町田市立小中一貫ゆくのき学園 校長 鈴木 元
指導助言	上越教育大学 教授 山田 智之
運営	東京都世田谷区立深沢中学校 主幹教諭 深沢 享史
記録	東京都江戸川区立小岩第一中学校 教諭 金沢 圭介

高等学校分科会：高等学校における進路指導・キャリア教育の諸問題とその解決

講演	「大学での学び」(仮題) 早稲田大学大学総合研究センター 副所長 早稲田大学教育・総合科学学術院 教授 吉田 文
司会	東京都立松原高等学校 校長 石野 隆
運営	埼玉県立熊谷商業高等学校 教諭 町田 進一
記録	神奈川県立白山高等学校 教諭 黒田 建夫

全体研究協議会：「各教科の特質に応じたキャリア教育を考える」

パ ネ リ ス ト	東京都町田市立南第一小学校 新井 聡子 前東京都葛飾区立新小岩中学校 藤澤 和駿 新潟県立海洋高等学校 松本 将史
ファシリテーター	上越教育大学 教授 山田 智之
運営	早稲田大学教職大学院 森 爽
記録	東京都台東区立忍岡中学校 主任教諭 星野 こずえ

令和5年度「キャリア教育研修講座」(全6回)のご案内

主催 公益財団法人 日本進路指導協会
後援 文部科学省

この講座は、昭和21年10月 文部省、厚生省と職業指導協会(本協会の前身)が主催して開催された現職教員対象の職業指導講習会を起源としています。

その後、文部省(現 文部科学省)との共催または後援を受け、名称を変えながら今日に至っています。

今年度も、学校における進路指導・キャリア教育に関心のある方を対象に、実践、理論、キャリア教育にかかわる施策などを学ぶ研修会を開催することになりました。

この研修会はどなたでも参加していただけますので、どうぞご参加ください。

1. 目的

全国の学校で進路指導・キャリア教育の推進、充実を強く求められている現状を踏まえ、それを実践・展開する上での基礎となる、知識・技術を向上させること。

2. 開催日 (時間 13:30~16:30)

第1回: 6月4日(日) 第2回: 7月2日(日) 第3回: 9月10日(日) 第4回: 10月1日(日)
第5回: 11月5日(日) 第6回: 11月25日(土) ※ 第6回は土曜日になっています。

1	6月4日(日)	第I部「職業指導からキャリア教育へ」 第II部「特別活動と進路指導・キャリア教育」 東京音楽大学 客員教授 関本 恵一先生
2	7月2日(日)	「企業と学校をつなぐキャリア教育」 株式会社N.J.P執行役員 キャリアマネージャー 塚田 薫先生
3	9月10日(日)	「障害者福祉サービス」 学校法人武蔵野東学園 武蔵野東高等専修学校 進路指導部部長 ジョブコーディネーター・自閉症児進路アドバイザー 今城 慎一郎先生 「中学校特別支援学級の進路指導・キャリア教育の実践」 荒川区立尾久八幡中学校 伊藤 要輔先生
4	10月1日(日)	「専門高校における進路指導・キャリア教育の実践」 埼玉県立浦和商業高等学校 教諭 福本 剛史先生 「中学校における進路指導・キャリア教育の実践」 大田区立大森第三中学校 副校長 五十嵐 弘毅先生
5	11月5日(日)	「小学校におけるキャリア教育の実践」 荒川区立峡田小学校 主任教諭 榎本 日月先生 「中学校における進路指導・キャリア教育の実践」 荒川区立第三中学校 校長 小柴 憲一先生
6	11月25日(土)	「特別活動を要としたキャリア教育の充実」(仮題) 文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 視学官 安部 恭子先生

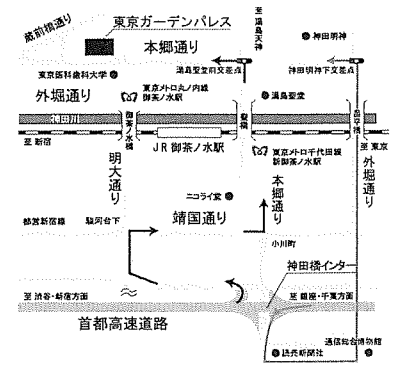
3. 会場

◆ 東京ガーデンパレス 〒113-0034 東京都文京区湯島1-7-5

最寄り駅 JR 中央線・総武線 「御茶ノ水駅」 徒歩5分

東京メトロ千代田線 「新御茶ノ水駅」 徒歩5分

東京メトロ丸の内線 「御茶ノ水駅」 徒歩5分



4. 費用

資料代 : ①、②のどちらかを選択してください。

① 全6回分の資料を受け取る場合: 2,000円 (受講回数はいりません)

② 受講した時の資料だけの場合、受講回数1回につき500円

5. 申込方法

- ・ メール、FAX、はがき、電話、ホームページのお問い合わせ・資料請求から のいずれかでお申し込みください。
- ・ [氏名] [〒、自宅住所・電話] [所属・職名・電話番号] をご連絡ください。
- ・ 欠席の場合、資料は自宅に送付します。

6. 問合せ・申込先

公益財団法人 日本進路指導協会

【住所】 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-8-1 親和ビル2階

TEL : 03-5280-7013

FAX : 03-5280-7018

E-mail : nihon-shinro@z-shinro.jp